

(様式第4号)

上田市図書館協議会 会議概要

1 審 議 会 名	上田市図書館協議会
2 日 時	令和7年7月17日(木) 午後6時30分から午後8時30分まで
3 会 場	上田駅前ビルパレオ 2階会議室
4 出 席 者	中村会長、内山副会長、荒木委員、北沢委員、甲田委員、小林委員、西山委員、丸山委員
5 市側出席者	金田上田図書館長、中村上田情報ライブラリー館長、井澤上田図書館係長、赤地上田図書館係長、和田上田情報ライブラリー次長、藤森丸子図書館次長、菊地真田図書館次長
6 公開・非公開	<u>公 開</u> ・ 一部公開 ・ 非公開
7 傍 聴 者	0人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	令和7年7月18日

協 議 事 項 等

1 開 会

2 会長あいさつ

図書館基本構想も大詰めとなった。よろしくお願ひしたい。

3 協議事項

(1)第三次上田市図書館基本構想について

①事務局から資料に基づき説明。説明の主旨は以下のとおり。

・基本理念について前回も提案したが、そこでいただいた意見を踏まえて、

候補1 人にやさしい つながりが見つかる図書館

候補2 利用しやすく 役に立つ つながりが見つかる図書館

として提示したい。

・基本理念に基づく基本方針は、次のとおりとしたい。

基本方針1 利用しやすい図書館

基本方針2 役に立つ図書館

基本方針3 つながりが見つかる図書館

・各基本方針に基づく、基本目標・取り組み項目・指標項目については、資料のとおりとしたい。

また今回の構想は指標を立てて、取り組んでいくこととしたい。

・各基本方針の詳細は以下のとおり。

基本方針1 利用しやすい図書館

各基本目標について

- ・「図書館の利用方法の市民への周知と情報発信」は、図書館の利用方法の周知や情報発信を積極的に行い、市民が気軽に利用できる施設であることを知ってもらい、図書館利用者の拡大を図るもの。
- ・「図書館サービス拠点」は、利用しやすい図書館の重要な要素として、サービス拠点の充実に取り組む。全域サービスの視点から課題を洗い出し、対策を検討するもの。
- ・「資料の収集・整理・保存の適切な実施」は、地域の実情と社会の変化への対応、利用者及び住民の要望への配慮、継承されてきたコレクションに基づき、充実した蔵書構成の実現に努めるもの。
- ・「資料の整理・提供の適切な実施」は、利用しやすい配架、新たな資料との出会いにつながるテーマ展示、利用しやすい貸出を実施するもの。
- ・「利用しやすく、居心地のよい施設に向けた整備」は、誰にとっても利用しやすいように、館内表示やサイン等を工夫する。多様な利用目的に応じた使い方ができる、居心地のよい空間づくりを行うもの。
- ・「利用しやすい開館日と開館時間」市民にとって利用しやすい開館日と開館時間を検討し、必要に応じて変更するもの。
- ・「図書館サービスを行うための職員の育成」は、職員の専門性やスキルの向上のために、館外研修の参加、館内研修の実施を進めるもの。
- ・「開かれた図書館運営」は、図書館基本構想、毎年度の事業計画及び事業概要を策定し、図書館運営の状況を市民に周知する。また、適時、利用者や市民との懇談会、アンケートを実施して、市民の声を図書館運営に活かすもの。

基本方針2 役に立つ図書館

各基本目標について

- ・「レファレンスサービスの利用促進」は、レファレンスは、利用者が、日常生活、仕事、学習や研究などで探している情報や資料の相談に、図書館が適切な資料や情報源をお伝えするサービスである。市民の役に立つサービスとして、レファレンスの利用を促進するもの。
- ・「課題解決のための情報提供」は、ビジネス、子育て、健康などの情報の収集、整備、提供を行い、市民の課題解決のための支援を行うもの。
- ・「データベース等のデジタル資料の充実と活用」は、図書館として必要なデジタル資料について整備し、市民に提供するもの。
- ・「子どもの読書活動の支援」は、子どもの読書活動を推進するため、年齢に応じた資料の収集と提供を行う。関係機関と連携し、子どもの読書環境を充実させる取り組みを行うもの。
- ・「バリアフリーサービス」は、誰もが読書ができる社会を目指す「読書バリアフリー法」を踏まえ、様々なバリアフリーサービスに取り組むもの。
- ・「多文化・多言語サービス」は、市内に在住するさまざまな外国籍市民等の状況把握に努め、ニーズに応じた多文化・多言語サービスを行うもの。各図書館に一定の多言語資料を揃えているが、外国籍市民のニーズに合っているか、検証が必要。

基本方針3 つながりが見つかる図書館

つながりとは、図書館が色々なところとつながっていることをイメージしている。例えば、上田の歴史や文化につながる、など。

各基本目標について

- ・「地域の郷土資料の収集・整理・保存・活用」は、地域の歴史、文化、人物に関する郷土資料は上田市の財産であ

る。資料の活用を通して、地域とのつながりの発見、郷土愛を育むことにつなげるもの。

・「上田の図書館が所蔵する貴重資料の保存と活用」は、「花月文庫」をはじめとする貴重資料は上田市の財産であることから、これらを適切に保存して後世に遺すとともに、活用を図り価値を広めるもの。

・「小中学校の学校図書館の支援」は、子どもの読書活動の環境整備として、小中学校の学校図書館の支援を行うもの。

・「幼稚園・保育園・放課後児童施設・絵本サークル・読み聞かせ団体等との連携」は、小中学校以外の、地域の様々な子どもの育成に関わる施設や団体との連携を図り、支援を進めるもの。

・「地域の高等学校、大学、専門学校等との連携」は、市内の高等学校及び大学等の図書館や、高等学校、大学、専門学校と連携し、学生の教育活動や読書機会の拡大、課題解決支援の連携等を進めるもの。

・「行政や地域の各種機関・施設・団体の資料・情報の収集と提供、連携」は、行政をはじめ、市内の各種機関・施設・団体等の資料や情報を収集し、提供するもの。

・「市民協働による図書館づくり」は、図書館のみでは実現できない運営上の課題解決や学習・文化事業を、学習団体、ボランティア団体、NPO 法人等、市民との協働で取り組みます。市民の学習の成果を活かす場、社会参加を実現する場として、今後も市民協働の図書館づくりを進めるもの。

・「図書館を活用した多様な学習機会や文化イベントの提供」は、生涯学習施設として、図書館の資源を活かした多様な学習機会を提供するもの。また、図書館へ目を向け、図書館へ足を運び、図書館利用のきっかけとなる取り組みとしていく。

②委員との質疑は以下のとおり。

○基本理念について

委員

・「つながりが見つかる」という表現に、唐突感がある。後の説明をよく聞けばわかるが、「地域とつながった」という表現のほうがわかりやすい。

委員

・基本理念は抽象的でもよいと思う。候補 1 が良い。

・「つながりが見つかる」は、歴史や文化とつながる、人とつながる、知識とつながるなど、様々なイメージが持てる。理念の段階では、「地域とつながる」のような限定は、しない方がよいと思う。

・「図書館」という言葉の前に、「さんさん」を付けて、「さんさん図書館」としてはどうか。蚕都の「さん」と、光り輝くという意味の「さんさん」を掛け合わせたもの。長野市は「仏都（ぶっと）」、松本市は「学都（がくと）」と呼ばれることもあり、「蚕都（さんと）」を入れることで、上田らしさが表現できるのではないか。

・候補 1 に、「人にやさしい」とあるが、「人に」を入れる必要があるか。

・案として、「やさしさあふれ つながり見つかる さんさん図書館」などはどうか。

委員

・個人的な好みとしては、候補 2 がシンプルで良い。

・「つながりがみつかると」より、「地域とつながる」という方が具体的で良い。

委員

- ・候補 1 が、「何？」というひっかかりがあって、むしろ良い。

委員

- ・候補 1 が良い。わかりやすい。

委員

- ・図書館の理念としては、候補 2 の方がピンとくる。

委員

- ・「つながりが見つかる図書館」とあるが、図書館ネットワークがあり、図書館が人々につながっているのは自明の理であり、あえて理念に入れる必要はないのではないかな。
- ・前回会議の際、『上田らしい』という表現はどうか」という話があり、それを受け、第二次構想とは異なって、わかりやすい言葉を使う方向で提案されたものと承知している。「地域につながる図書館」という表現が、流れとしては良いと思う。
- ・「人にやさしい」については、「地球にやさしい」という言葉が少し前に流行った。ここであえて使い古した言葉を持つてくる必要はないと思う。

会長

候補 1、候補 2 が、概ね半分という状況。これを受け、事務局で検討していただきたい。

○基本方針1 利用しやすい図書館について

委員

- ・資料 1 ページ、基本目標「図書館の利用方法の市民への周知と情報発信」の評価指標について、集計が可能ならホームページへのアクセス数も指標に入れたほうがよい。
- ・資料 1 ページ、基本目標に「図書館サービス拠点」とあるが、他の基本目標と比べると言葉が足りない。「図書館サービス拠点の〇〇（整備・構築・充実などの言葉）」が入るのではないかな。
- ・資料 2 ページ、基本目標「図書館サービス拠点」の取組項目に「移動図書館車の巡回の維持」があるが、指標がないので、「移動図書館車の今」などの書籍を参考にして、指標を入れるべきではないかな。
- ・資料 2 ページ、基本目標「資料の収集・整理・保存の適切な実施」の評価指標に、「市民一人当たりの蔵書冊数」加えて、市民一人当たりの資料費を盛り込んでほしい。
- ・資料 2 ページ、基本目標「資料の整理・提供の適切な実施」の取組項目に「利用者にわかりやすい配架」とある。具体的に取り組む際に留意してほしいこととして、地図資料や一枚ものの資料を劣化や汚破損から資料を守るための装備、例えば容器・引き出し・保存ケース等の充実などがあげられる。
- ・資料 2 ページ、基本目標「資料の整理・提供の適切な実施」の取組項目「資料を手に取りやすい書架の維持」について、テーマ展示などを行った際には、テーマ別ブックリストの作成をしてほしいし、構想に盛り込んでほしい。
- ・資料 4 ページ、基本目標「開かれた図書館運営」の評価指標について、アンケート実施だけでなく、ホームページの充実や閲覧回数なども盛り込んでほしい。また取組項目について、本棚の配置表示や図書館の

利用案内、テーマ展示に係るチラシ等々、紙ベースの広報類の充実を盛り込んでほしい。

委員

・資料4ページ、基本目標「開かれた図書館運営」について、利用者の意見、また利用していない方の意見を聞き入れる場を設けてほしい。形式的な会議を開くのではなく、肩に力を入れずに率直に意見が言える場が必要である。

基本方針2 役に立つ図書館について

委員

・資料5ページ、基本目標「レファレンスサービスの利用促進」について、国立国会図書館のデータベースへの参加をひとつの課題ととらえ、評価指標にレファレンス共同データベースへの登録件数をいれてはどうか。

委員

・資料5ページ、基本目標「レファレンスサービスの利用促進」「課題解決のための情報提供」などに、取組項目として挙げられたものは、今までの延長線上の取組である。

例えば、課題解決に関して、図書館に行けば解決することはわかっている、図書館で子どもが泣いてしまうから行けない、などの現実がある。

資料・情報へのアクセスの保証という意味において、待っているだけでなく、困っている人に届くように、積極的に外へ出ていく、声をかけていくといった姿勢がほしい。

十年間の計画であることを考えると、現在は難しかったとしても、取り組むべき方向性として掲げてよいのではないかな。

基本方針3 つながりが見つかる図書館について

委員

・資料10ページ、基本目標「市民協働による図書館づくり」について、つながりが見つかる図書館という基本理念を考えたときに、この基本目標が最後の方にきているが、これでよいかな。

委員

・資料8～9ページ 基本目標「小中学校の学校図書館の支援」について、学校図書館との連携・支援が、なかなか進まない実態ある。公共図書館職員がもっと積極的に外へ出て行って、コーディネータ的な役割を担う人たちの育成、スタッフの育成など、具体的に記載してもよいのではないかな。

委員

・資料8ページ、基本目標「地域の郷土資料の収集・整理・保存・活用」の評価指標について、郷土資料の蔵書冊数が記載されているが、新規の収集のタイトル数を加えてはどうか。郷土資料の場合、寄贈されるも

のが多数あり、同じ資料が寄贈されると、蔵書冊数は、実際のタイトル数より多くなる。

- ・また、８ミリフィルムを掘り起こしてデジタル化したものをもとに、「上田のまなざし」という地域映画が作られ、NHKでも取り上げられた。８ミリフィルムのデジタル化したり、収集したりすることは可能か。図書館でできなくても、市のどこかの部署では実施可能か。

委員

- ・デジタルフィルムの映画化は、県の元気づくり支援金を活用して実施したもの。
- ・市内では、マルチメディア情報センターに、昔のニュース映像や依田社（かつての蚕糸会社）の映像をデジタル化したものが保有されている。そのような部署との連携が考えられる。

事務局

- ・図書館がデジタル化の技術を習得して実施していくのは難しいが、市としてデジタル化の取組を行っているのはマルチメディア情報センターである。ときめきの街出前講座の中で、昔の街並みや養蚕の様子が収録されたフィルムを、公民館などで上映する事業もある。

委員

- ・資料４ページ、基本目標「小中学校の学校図書館の支援」に関連して、小学校では、子どもたちがなかなか図書館に来てくれないという現実がある。保育園・幼稚園の段階から、図書館を利用できる取組があったらよいと思う。小学校へあがると、図書館に足を運ぶこどもが少なくなる。子どもたちが「図書館は友達」と思える取組があったらよいと思う。

委員

- ・この構想案には、エコールという単語が所々に出てくる。エコールの在り方を具体的に扱う部分はどこか。

事務局

- ・資料１ページ、基本目標「図書館サービス拠点」の取組項目のところで、「近隣市町村と連携して上田地域図書館情報ネットワーク（エコール）を継続し、サービス向上の検討を行います」とあり、そのところで扱う。

(2)その他

委員

- ・この構想は、単独の図書館施設を前提としていると考えられる。しかし複合施設となった場合にどうなるか、といったことがあまり触れられない。
- ・資料３ページ 基本目標「利用しやすく、居心地のよい施設に向けた整備」の取組項目で、会話できる空間と静かな空間の共存、飲食スペースの確保といったことは触れている。この構想と複合施設との関連といったときに、どのようにとらえるか。

事務局

- ・この構想は、新しい図書館を作る際も、基本的な方針となっていく。構想の主旨を包含した形で、図書館をつくることが前提である。

委員

- ・委員の意見も踏まえつつ、思い切った方向で打ち出してほしい。

4 その他

- ・次回開催日について説明（8月7日開催）

5 閉 会